

基本情報



【年齢】
25歳
【出身地】
千葉県野田市
【転出元】
東京都杉並区
【前職】
大手人材会社勤務
【活動時期】
R2.10～

協力隊に応募したきっかけ

転職を検討し始めた頃、パートナーからの提案でオンラインで全国移住フェアに参加したことをきっかけに、移住に興味を持ちました。移住をするなら、地域に溶け込み生活基盤を築きやすそうな地域おこし協力隊として働こうと考え、「①2人の希望に合う協力隊の募集があるか②千葉から車で移動できる距離か③人が合いそうか」という条件に合う地域を全国で探していたところ、偶然スカウトを頂いて仕事がマッチングしたのが陸前高田市でした。

今後の抱負・任期後の目標

地域の良い部分はもちろんですが、マイナスになりうる要素も当然あります。そういった点もきちんとお伝えした上で、それでも陸前高田で暮らしたいと思ってくれて、「居心地が良くて気づいたら陸前高田の人になっていた！」ような人を増やすことが目標です。そのためにも、目指しているのは「圧倒的に寄り添う移住コンシェルジュ」。1人1人のお話を伺いながら、相手に合わせたサポートを考え、提案し、移住後まで伴走させていただいています。

活動内容

●1人1人に寄り添う情報発信・個別相談

会員37,000人以上の移住サービス「SMOUT」にイベントや求人情報を掲載しつつ、個別スカウトを送信し集客。SMOUT東北ランキングでは1位を維持し、令和2年度から200件以上の移住相談を頂きました。移住定住ともに、個別のやり取りやLINEグループでの発信を続けながら、丁寧にサポートしています。



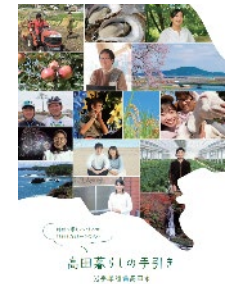
●イベントの企画運営

移住検討者・移住者それぞれに対し、市内10団体が求人を紹介する「陸前高田しごとフェス」や3日間の滞在で叶えたい暮らしを見つける「お試し高田暮らし」、移住者が他の移住者や地元の人と交流できる「高田暮らし交流会」などを開催し、様々なニーズに応えるべく試行錯誤を重ねています。



●移住パンフレット「高田暮らしの手引き」製作

私自身、縁もゆかりもない地域に移住してきた時に「欲しかった」と思う暮らしのあれこれ取材し、1冊の冊子にまとめました。相談時やアンケートの意見も踏まえ、生活費の実例や市内にあるコミュニティ、移住者や地域の人々のリアルな声などを48ページに渡り、紹介しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook) <https://www.facebook.com/TAKATAKURASHISHA>